

大形タイル有機系接着剤後張り施工

大形タイルは使用部位や大きさによって施工方法が異なってきます。推奨施工方法は下記の通りです。

施工法の分類

壁への施工法

施工場所	施工高さ	タイルサイズ	推奨工法
外壁	3 m未満	900cm以下	全面接着剤張り
		900 c m以下 ~ 7,200 c m以下	部分弾性接着剤張り（受け金具工法）
			金具併用部分弾性接着剤張り（リベット工法）
	3 m以上	900cm以下	全面接着剤張り
		900cmを超 ~ 7,200cm以下（ t 8.5 ~ 15 mm）	金具併用部分弾性接着剤張り（リベット工法）
内壁	3 m未満	900cm以下	全面接着剤張り
		900cmを超 ~ 11,250cm以下	部分弾性接着剤張り（受け金具工法）
	3 m以上	900cm以下	部分弾性接着剤張り（受け金具工法）
		900cmを超 ~ 11,250cm以下	金具併用部分弾性接着剤張り（リベット工法）

◎部分弾性接着剤張り（受け金具工法）

弾性接着剤を縦方向に線状塗布（張り代7mm以下）または点状塗布（張り代20mm以下）下タイルを押し付けて貼り付ける工法です。下地には予め受け金具を固定しておきます。最下部の横目地には水抜き穴を1.8m以下毎に設けます。

適用範囲

適用高さ	3 m未満	
下地条件	RC 造	コンクリート・不陸調整モルタル下地（下地精度± 2 mm /2 m以内 線状塗布）
	S 造	押出成型セメント板（フラット板）
タイルサイズ	RC 造	900cm以下 ~ 7,200cm以下
	S 造	900cm以下 ~ 3,600cm以下
目地幅	5 ~ 10 mm	

※タイルは伸縮調整目地をまたいで張らないでください。
※積み上げ高さが1.5mを超える場合は、1.5m以下毎に受け金具を設置します。
※押出成型セメント板にビスを取り付ける場合は、専用ビスを中空部に施工します。

◎金具併用部分弾性接着剤張り（リベット工法）

弾性接着剤を縦方向に線状塗布（張り代7mm以下）または点状塗布（張り代20mm以下）下タイルを押し付けて貼り付ける工法です。タイルには予めリベットを固定しコンクリートビスで機械的な固定を併用します。最下部の横目地には水抜き穴を1.8m以下毎に設けます。

適用範囲

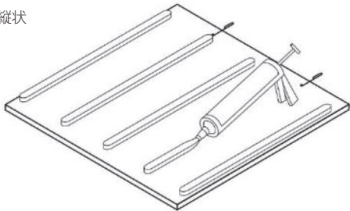
適用高さ	3m 未満	
下地条件	RC 造	コンクリート・不陸調整モルタル下地（下地精度± 2 mm /2 m以内 線状塗布）
	S 造	押し出し成型セメント板（フラット板）
タイルサイズ	RC 造	900cm以下 ~ 7,200cm以下
	S 造	900cm以下 ~ 600cm以下
目地幅	5 ~ 10 mm	

※タイルは伸縮調整目地をまたいで張らないでください。
※押出成型セメント板にビスを取り付ける場合は、専用ビスを中空部に施工します。
※押出成型セメント板は13mm以下の高さに限ります。

ALC/パネルの表面強度が弱いことから、タイル張りによるALC/パネルへの負荷質量は、下地処理材や張り付け材などの総重量が30kg/m以下かつ、タイルサイズは900cm以下とします。

◎線状塗布工法

水の流れを確保するため縦状



◎点状塗布工法

張り代：20mm

